

令和5年11月15日

市政記者各位

福岡市美術館

## 企画展「オチ・オサム展」を開催

福岡市美術館では、令和6年1月24日（水）より「オチ・オサム展」を開催致します。

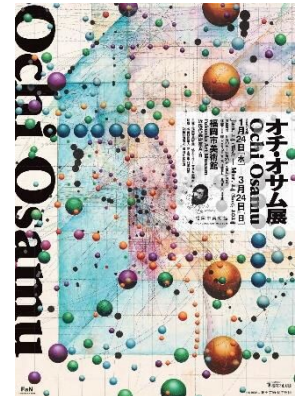
美術家 オチ・オサム（1936-2015）は、福岡を拠点とする前衛美術グループ「九州派」のメンバーとして活動し、晩年まで孤高の存在として内から湧き出るビジョンを表現し続けた作家です。本展は、九州派時代から晩年までの作品・資料約180点を紹介し、幅広い活動をたどる、美術館初の試みです。

つきましては、本展の広報にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

### 企画展 オチ・オサム展

美術館初の回顧展となる今回、オチが残した作品等の調査に基づき、これまで十分に光の当たらなかったオチ・オサムの全貌をご覧ください。

会期	令和6年1月24日（水）～3月24日（日）
会場	2階 近現代美術室A・B
開館時間	午前9時30分～午後5時30分 ※入館は閉館の30分前まで
休館日	毎週月曜日 ※2月12日（月・祝）は開館し、2月13日（火）は休館
観覧料	一般200円（150円）、高大生150円（100円）、中学生以下無料 ※（ ）内は20名以上の団体料金



### 関連イベント

#### ① つきなみ講座「オチ・オサムの人と作品」

たばこの吸い殻から提灯まで、幅広い素材を用いて制作したオチ・オサムの作家活動を紹介します。

日時	令和6年2月10日（土）午後3時～午後4時（開場：午後2時30分）
会場	1階 ミュージアムホール
講師	忠あゆみ（本展担当学芸員）
定員	180名 ※先着順
料金	聴講無料

## ② ギャラリートーク

担当学芸員が本展のみどころをお話します。

日 時	令和6年 <b>2月17日</b> （土）午後2時～午後2時40分
会 場	2階 近現代美術室A・B
講 師	忠あゆみ（本展担当学芸員）
料 金	聴講無料 ※コレクション展観覧料（一般200円）が必要です。

## ③ 記念講演会「オチ・オサム作品《出口ナシ》をめぐって」

本展出品作《出口ナシ》（1962/2015）の所蔵館学芸員である藤井亜紀氏に、作品を手掛かりに時代状況や作家の評価等についてお話いただきます。

日 時	令和6年 <b>2月24日</b> （土）午後2時～午後3時30分（開場：午後1時30分）
会 場	1階 ミュージアムホール
講 師	藤井亜紀（東京都現代美術館 学芸員）
定 員	180名 ※先着順
料 金	聴講無料

## ④ 記念講演会「宇宙（そら）に昇った画家を語る」

生前にオチ・オサムと親交を持ち、福岡のアートシーンを長年追ってきた深野治氏にお話いただきます。

日 時	令和6年 <b>3月3日</b> （日）午後2時～午後3時30分（開場：午後1時30分）
会 場	1階 ミュージアムホール
講 師	深野治（元フクニチ新聞記者、『西日本文化』編集長） 聞き手：忠あゆみ
定 員	180名 ※先着順
料 金	聴講無料

### 【問い合わせ先】

経済観光文化局 美術館学芸課 （担当：忠）  
TEL：092-714-6051



OCHI OSAMU

# オチ・オサム展

## Ochi Osamu

2024年

1月24日〔水〕—3月24日〔日〕

Jan. 24 (Wed) — Mar. 24 (Sun), 2024

開館時間 9時30分—17時30分（入館は17時まで）  
休館日 月曜日（2月12日・月祝は開館し、翌13日・火は休館）

福岡市美術館  
Fukuoka Art Museum

近現代美術室 A・B

主催 福岡市美術館 協力 オチ・オサム事務所

助成 公益財団法人 花王芸術・科学財団、  
公益財団法人 福岡文化財団



福岡市美術館  
FUKUOKA ART MUSEUM



# オチ・オサム展 Ochi Osamu

「大きなものにも魂は一つ。  
小さなものにも魂は一つ。  
小さなものの魂を描きたい。」

毎日新聞夕刊1980年11月1日付「展示作品で抗議」より引用

オチ・オサム(1936-2015)は、福岡市を拠点とする前衛美術グループ「九州派」の中心メンバーとして謎めいたオブジェ作品を発表し、晩年まで孤高の存在として内から湧き出るビジョンを表現し続けた作家です。

「九州派」時代のオチは、アスファルトなど身近な事物を絵画やオブジェの素材とした作品制作を先導し、生活に根差し表現するという姿勢を体現しました。1960年代後半からはヒッピー文化に刺激され、絵画制作に集中して取り組みます。この頃登場する、小宇宙のような空間に浮かぶ球体はオチの代名詞となり、2015年に没するまで大小とりどりの球体を描き続けました。

オチの活動を貫くのが、生活と制作が一続きであるという態度です。自宅では膨大な数のドローイングやカラーージュを制作し、あふれる創作意欲で日々新たな表現を試みていました。

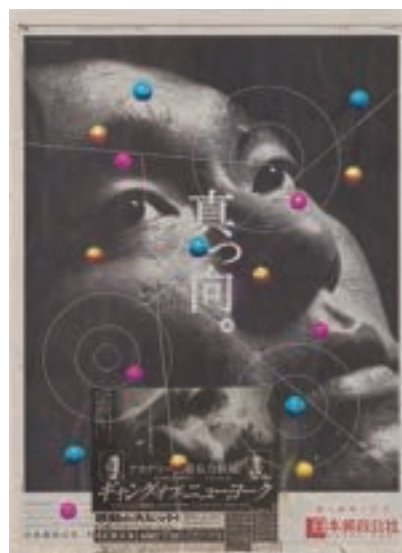
美術館初の回顧展となる今回、オチが残した作品等の調査に基づき、これまで十分に光の当たらなかったオチ・オサムの全貌をご覧ください。



《題不詳》1963-64年頃 油彩・画布 オチ・オサム事務所蔵



《題不詳》1973年 油彩・画布 オチ・オサム事務所蔵 © 2020 EUREKA



《題不詳》2003年 新聞紙によるコラージュ、アクリル オチ・オサム事務所蔵 © 2020 EUREKA



《出口ナシ》1962年 木、油性塗料、ガラス、セメント (第14回読売アンパダン展) [東京都美術館] 展示風景

「関連事業」 ※すべて聴講無料

- ① つきなみ講座**  
 講師=忠あゆみ(本展担当学芸員)  
 日時=2月10日[土] 15:00-16:00(開場は30分前)  
 会場=1階ミュージアムホール  
 定員=180名(先着順)
- ② ギャラリートーク**  
 講師=忠あゆみ(本展担当学芸員)  
 日時=2月17日[土] 14:00-14:40  
 会場=近現代美術室A・B
- ③ 記念講演会**  
**「オチ・オサムの作品《出口ナシ》をめぐって」**  
 講師=藤井亜紀(東京都現代美術館 学芸員)  
 日時=2月24日[土] 14:00-15:30(開場は30分前)  
 会場=1階ミュージアムホール  
 定員=180名(先着順)
- ④ 記念講演会**  
**「宇宙(そら)に昇った画家を語る」**  
 講師=深野治(元フクニチ新聞記者、『西日本文化』編集長)  
 日時=3月3日[日] 14:00-15:30(開場は30分前)  
 会場=1階ミュージアムホール  
 定員=180名(先着順)

写真協力:EUREKA

オモテ面(顔写真):  
 フクニチスポーツ1972年[発行日不明]  
 「強くなろうぜ!ライオンズ改造論」(7)/  
 地元からスター発掘せよ/信じて待つファン)より

オモテ面(背景):  
 《球の遊泳II》(部分) 1979年  
 油彩・画布 福岡市美術館蔵



「交通案内」

**地下鉄:**空港線「大濠公園駅(福岡市美術館口)」3、6番出口から徒歩10分。七隈線「六本松駅」2番出口下車、徒歩10分。**西鉄バス:**「福岡市美術館東口」下車、徒歩3分。「赤坂三丁目」下車、徒歩5分。「福岡城」NHK放送センター入口」下車、徒歩3分。**車:**福岡都市高速「西公園ランプ」から5分。※福岡市美術館専用駐車場(有料:200円/1時間)※週末、祝日等は大変込み合います。公共の交通機関をご利用ください。

**観覧料=一般200円(150円) / 高大生150円(100円) / 中学生以下 無料**

( )内は20名以上の団体料金。下記の方は無料でご観覧いただけます。展示室入口にて証明書等をご提示ください。  
 ○身体障害者手帳等、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、障害者手帳[マイリD]をご持参の方、およびその介護者1名 ○特定医療費(指定難病)受給者証・特定疾患医療受給者証○先天性血液凝固因子障害等医療受給者証・小児慢性特定疾病医療受給者証をご持参の方 ○福岡市、北九州市、熊本市、鹿児島市在住の65歳以上の方 ○wa+club(わたすクラブ)会員

福岡市美術館  
 FUKUOKA ART MUSEUM

〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6  
 TEL=092-714-6051(代表) FAX=092-714-6071  
<https://www.fukuoka-art-museum.jp/>

オチ・オサム展  
2024年1月24日(水)～3月24日(日)  
福岡市美術館  
広報用作品画像データ申込書

福岡市美術館 広報・運営グループ  
(福岡アートミュージアムパートナーズ(株))  
委託:西日本新聞イベントサービス)

TEL: 092-714-6051(代表) FAX: 092-714-6071

E-mail :press@fukuoka-art-museum.jp

〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6

広報用に作品画像データをご用意しております。ご希望の際は、以下にご記入の上、FAXもしくはE-mailでお申込みください。

- ・下記リストからご希望の作品にチェックをつけてください(作品イメージに関しては裏面をご参照ください)。
- ・本展広報目的での使用に限ります。使用可能期間は本展会期終了までとなります。
- ・展覧会名、会期・会場名のほか、画像の使用時には、指定するキャプション・クレジットを必ずご掲載ください。  
複数点掲載の場合、重複する情報は省略可能な場合がございます。掲載前に広報事務局宛に校正紙をお送りください。
- ・作品画像は良識の範囲内でトリミングいただけます。ただし必ず校正紙の確認を行い、許可を得たものをご掲載ください。
- ・ご使用後はデータを廃棄するとともに、掲載誌、または同録DVDを当館宛に1部ご送付ください。

希望	作品NO	画像キャプション・クレジット
<input type="checkbox"/>	1	《球の遊泳II》1979年 福岡市美術館蔵
<input type="checkbox"/>	2	《出口ナシ》1962年(第14回読売アンデパンダン展 展示風景)
<input type="checkbox"/>	3	《題不詳》1963-64年頃 オチ・オサム事務所蔵 ©2020 EUREKA
<input type="checkbox"/>	4	《題不詳》1973年 オチ・オサム事務所蔵 ©2020 EUREKA
<input type="checkbox"/>	5	《題不詳》2003年 オチ・オサム事務所蔵 ©2020 EUREKA
<input type="checkbox"/>	6	クレジット不要

ご住所	〒		
貴社名			ご所属
ご担当者名			
TEL/FAX	TEL	FAX	
E-mail			
貴媒体名	(発行部数 部)		
掲載号/発売予定日	月号/月日号 ( 月 日発売)		
素材締切日 最終校了日	素材締切日 ( 月 日) / 最終校了日 ( 月 日)		

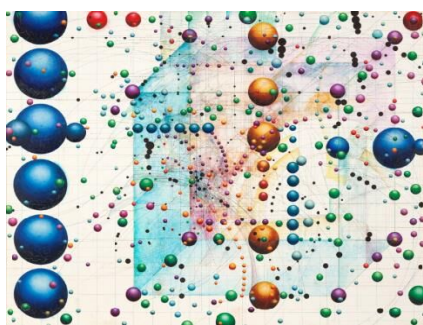
オチ・オサム展  
2024年1月24日(水)～3月24日(日)  
福岡市美術館  
広報用作品画像データ申込書

福岡市美術館 広報・運営グループ  
(福岡アートミュージアムパートナーズ(株))  
委託: 西日本新聞イベントサービス

TEL: 092-714-6051(代表) FAX: 092-714-6071

E-mail : press@fukuoka-art-museum.jp

〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6



① 《球の遊泳II》  
※本展メインビジュアル



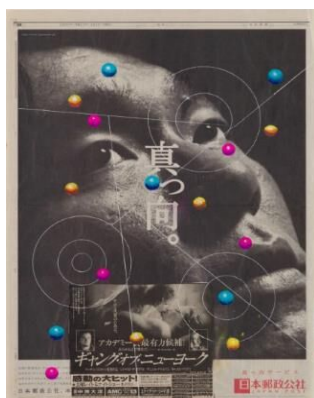
② 《出口ナン》



③ 《題不詳》(初期油彩)



④ 《題不詳》(チューリップ)



⑤ 《題不詳》(新聞紙によるコラージュ)



⑥ ポスター